## μ'sとスク盟の夏 休みpart2

変態ハゲ

## 注意事項

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したもので

す。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を

超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## あらすじ

μ, sとスク盟が旅行の行く感じのやつ

1

「当機は間もなくホノルル国際空港に着陸します」

日本時間の23時から離陸して約七時間のフライト時間が終わろうとしていた

穂乃果「見てみて!!ハワイが見えてきたよ!!」

離陸したあとすぐに寝てしまったので短いように感じた

海未「穂乃果!!静かにしなさい」

tsubasa「ウオウウオウ(:3 [沖ラ・私フリー青太にしたごし]

ε:) ウオウ

ウオウ」

絵里「ハラショー!」

海未「絵里まで…」

飛行機はゆっくり高度を下げていき無事着陸した

「本日は当機を御利用いただき有難うございます最後に機長から挨拶です」

「この飛行機すごいよぉ!」

「では皆様良い旅を」

一瞬変な人が出てきたが気にしないでおこう

2

特に異常な寝方をしていた俺と穂乃果ちゃんは辛かった 長時間座っていたせいかみんなふらふらだった

穂乃果「これからどうするの?」

よっしー「わかんない...」

絵里「バスに乗るのかしら」

t s u b a s a 「うーん… 疲れてるしタクシーでいいんじゃない?バス寒いし」

花陽「えぇ?!タクシーってお金すごいかかるんじゃ・・・・」

asa「座れるのが六人でホテルまで45分で着くから約45ドルぐらいか

海未「1人7ドルですか ならタクシーでいいと思います」 な

t

S u b

穂乃果「やったー!!」 凛「やったー!!タクシーにゃー!!」

その後タクシーに乗ってホテルに向かった

のがとても面白かった 向かってる途中で穂乃果ちゃんが運転手に話しかけられて片言の英語で会話してた

笑ってたらしばらく怒ってたけど膨れてる穂乃果ちゃんも可愛かった とも「づがれだぁ」

絵里「じゃあ荷物預けて晩御飯買に行きましょうか」 u b asa「じゃあ歩いて近くのスーパーに行くか」

いろんな写真撮ったり明日からの予定とかを話してたりしていてこんな日常って

いいなーって思いました

はい

話しながら歩いてるとあっという間にスーパーについた。くそ、なんでこんなとこに

スーパーがあるんだよもっと穂乃果ちゃんと話してぇよって思いながら晩飯を選んで

5

凛「ねぇねぇ会長、スパムおにぎりってなんにゃ?」

凛「会長使えないにゃ絵里ちゃんに聞いてくる!!」 会長「それはあれだよ・・・ Twitterの・・・・」

ことり「アヒポケ?」

海未「これは何でしょう?」

穂乃果「うーん・・・ あ、tsubasa!!アヒポケって何?」 u b asa「ん?ああ、マグロの切り身を玉ねぎとかと混ぜてわさび醤油で味付

穂乃果「ヘー」

t S u b a S a 「うまいよ」

そんなこんなで各々好きなものを買いホテルへ戻ると女性陣は料理男性陣は食事の

穂乃果「アヒポケ美味し い!! 準備に取り掛かった

よっしー「肉うまいぞぉぉぉ」 t S u b a S a 「そうかよかった」

音刃「高ぶる・・・ 高ぶるぞおおおお!!」

そういえばみんな忙しくて全員そろって飯食うの久々だなあ あ、なみさん忘れてたけどま、 いっか

男性組 その後男性部屋と女性部屋に分かれ別れのあいさつを済ませた 「おやすみ~」

男性

偂

女性組

「おやすみ~」

雛 とも「は 海未ちゃん可愛い」 あ::: 絵里可愛い」

Ĭ 「ところでみんな明日の予定決めたの?」

音刃「あつ・・・」

subasa「まぁ、女性組が決めてるでしょ

t

多分」

女性組

絵里「お腹いっぱいね」

ことり「日本食もあるから嬉しいね」

海未「そうですね では、シャワー浴びて寝ましょうか」 絵里「まぁ、なんだかんだで男性組が決めてると思う」

1 日目終了

希「誰かとデートとか―?」

海未「穂乃果と凛とにこは寝てますが明日からどうしましょう?」